

HSK N P O 法人「文福」ニュース



NO.283

冒頭の一言

(6)

新年明けてしまいおめでたいかも。今年も文福障ちゃんニュースよろしくお願ひします。

ところで「一年の計は元旦にあり」と言いますが、皆さん目標を立てられましたか？世界平和とか障害者差別が無くなるとか、あまり大きな願望は立てない方がいいのでないかと思ひます。地に足がついた、又はタイヤや杖がついた願ひにしましう。

とりあえずの目標は障害者の仲間を増やそう。ヘルパーを増やそう。そして、このニュースの配り先を増やすことを目標にしていきたいと思ひています。今年第一弾の障ちゃんニュース読んでください。

—もくじ—

冒頭の一言 … 1	年頭の御挨拶 … 2	アルバイト紹介 … 3
連続学習会報告 … 4-5	penko… 6-7	
ありがとうコーナー… 8		

一九九四年八月四日第三種郵便物承認
工
二
三
四
五
六
七
八
九
一〇
一一
一二
一三
一四
一五
一六
一七
一八
一九
二〇
二一
二二
二三
二四
二五
二六
二七
二八
二九
三〇
三一
三二
三三
三四
三五
三六
三七
三八
三九
四〇
四一
四二
四三
四四
四五
四六
四七
四八
四九
五〇
五一
五二
五三
五四
五五
五六
五七
五八
五九
六〇
六一
六二
六三
六四
六五
六六
六七
六八
六九
七〇
七一
七二
七三
七四
七五
七六
七七
七八
七九
八〇
八一
八二
八三
八四
八五
八六
八七
八八
八九
九〇
九一
九二
九三
九四
九五
九六
九七
九八
九九

年頭の御挨拶

NPO法人文福理事長 福田 文恵

2023 年は文福にとって開所してから 20 年の記念すべき年でもあり、長年の希望が叶い、事務所の移転も無事終わり、おめでたい年でした。

皆様はどんな年を過ごされましたか？

2024 年は問題が山積みのような気がします。

コロナ禍があげ、今まで活動が出来なかった事で、障害者部会を始めとし、本格的に活動再開をしなければいけません。

ここ 3 年ぐらい活動停止状態だったので、どういう活動の仕方をすれば良いか等考えて行かなければなりません。

スタッフの高齢化に伴い、これまで通りのやり方では難しくなって来ていきます。

スタッフの身体の事を考えながら、手探りでやれる事を探しながら 2024 年は先ずはゆっくりとしたペースで活動をしていきたいと思っています。

今後も今まで通りご支援ご鞭撻をしていただけますようよろしくお願い致します。

2024 年も皆様にとって良いお年でありますように。



宜しくお願いいたします

文福アルバイト 森 睦美

9月より勤務させていただいています。森睦美と申します。

同じく、文福でアルバイトされている富田さんの紹介で働かせていただく事になりました。

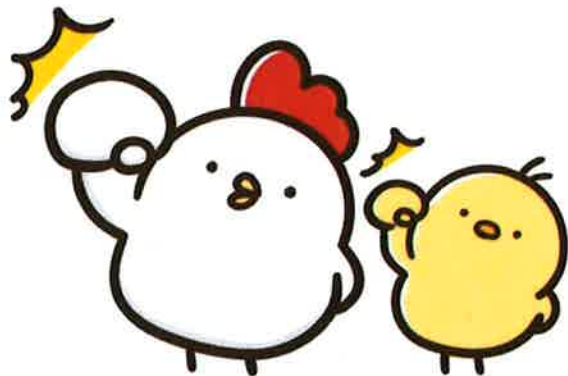
正直、全く未知の世界の仕事で、最初は凄くドキドキしたのを今でも良く覚えています。

私は、「介助」という仕事があるというの初めて知りました。

「介助」とはその方のやりたい事、しなければいけない事を実現するために「支援」する仕事。本人の意思やペースが尊重される。と、聞いた時に自分の思っていた世界と違う。

私でもお手伝いできるかな？働いてみたいな。と思いました。

まだまだ不慣れで、利用者様に教えてもらう事ばかりですが、精一杯やって行くので宜しくお願い致します。



文福連続学習会

河除静香さんによる お話と「ひとり芝居」

11月18日(土)午後、サンフォルテ307号室で、文福学習会主催で河除静香さんの「ひとり芝居」とお話があり、参加者約30名が質問など対話もして充実した時間を過ごしました。

河除さんは、先天性の難病「顔面動静脈奇形」で、鼻と上口唇に変形がある「見た目問題」の当事者です。顔の変形のため、幼い頃からいじめや差別を受けてきましたが、2011年に『Smiley Tomorrow 北陸から「見た目問題」を考える会』を設立。外見の違いが苦にならない人生「笑顔の明日」を目指し、交流会やイベント、講演活動を行っておられます。

まず、いじめを題材にした「ひとり芝居」を見ました。自分をいじめた男子に仕返しをしたいと、彼に子どもが生まれて自分と同じような顔にしてほしいと悪魔に頼みますが、後年謝られて悪魔との約束をキャンセルしたために自分が死ぬという内容です。悪魔の仮面と友人の仮面、自分の顔と役を使い分けた迫真の演技に河除さんの内面の葛藤を知りました。

次に、「この顔と生きるということ」を中心に、見た目を理由とする差別や偏見、生きづらさなどを自分の体験や思いから具体的に話されました。「いじめられれば、人を恨む自分の気持ちに悩んだ」「自分なりのプライドもあり、親にも相談できず、自分で何とかするしかなかった」「やがて、成人式でいじめた男子に謝られて恨みがなくなり、心が軽くなった。そして、一人の人間として認めてほしかったのだとわかった」そして、「自分と向き合ってくれる女性」として自分を認めてくれる夫と出会った。学校図書館の司書だが、生徒はマスクの顔しか知らず、素顔を知られることがこわい。などなど、とても率直にお話されました。

質問の応答では、いじめや差別をなくすには、被害者は声をあげなければならない。そうして理解されたら社会は変わる。参加した私たちは、教育が大切だということ学びました。(堀江節子)



11, 18 河除さんの一人芝居と講演を聞いて

2023-11-19

四十物 和雄

河除さんとお会いするのは、何年か前文福主催の学習会以来でした。その後、テレビ番組等で活躍されている姿を拝見する機会がありました。でも直接会い、一人芝居を鑑賞する機会に恵まれ、改めて感じさせられるものがありました。

「見た目問題」で私が自分に引き寄せて感じてきたことは、「（他人の）まなざしの地獄」ということでした。小さい頃から友達との関係があまりうまくいかなかった私は、他人におびえてきました。そういう自分の抱えている悩みを、サルトルというフランスの哲学者が「まなざしの地獄」というネーミングをもって、人間の根本的な在り方なのだ、主張している、ということ、後日知るようになりました。

他人は何を考えているのか分からない。表向きとは違って、私をいように利用しようとしているのかもしれない。他人の視線、まなざしは私を苦しめる。常に心休まることがない。私はそのような自身の在り方を「まなざしの地獄」と重ねてみるようになりました。そうでない人間関係を強く求めるわたしは、目をつぶってなりふり構わず他人を求めながらも、常にその行為が実を結ばない、という思いを持ち続けていました。そういう自分にとって、現在の連れ合いとの出会いは恐怖を感じなくて済む「心休まる関係」として貴重なものでした。

私は、河除さんの一人芝居『悪魔』や講演での友人、恋人との出会いの話を、以上の私の体験と重ねながら見聞きしました。忘れていた感触がよみがえってきたようでした。多分に独りよがりのところがありますが、ただ、依然として私には、他人の恐怖、「まなざしの地獄」の感覚はぬぐい消えてはいませんが……。

貴重な機会を提供してくれた人たちに感謝したいと思います。





Penko のおひとりさま 珍道中!! (Part65)

2023年の9月のある朝、新聞を見ていたら、「第59回第九交響曲「歓喜の夕べ」2023」の案内が目にとまりました。コロナがあって4年ぶりの開催。過去に2度ステージで合唱団の皆さんと歌いました。今回もぜひ参加したいと思い、新聞社に申し込み、10月に結団式に臨みました。

第九とは、ベートーヴェンが作曲した交響曲の第九番目で、第1楽章から第4楽章まであり、第4楽章を混声合唱付きでプロの声楽家（ソリスト）の方と一緒に歌います。

第九を知ったのは、高校生の時の音楽の先生の影響で、いつか歌ってみたいと思っていました。ドイツ語で本番は楽譜を見ずに歌います。年末に歌われることが多く、富山では12月24日（日）にオーバード・ホールで開催されます。「富山県合唱連盟」という団体が主催です。

練習は、日曜日の午後と木曜日の夜の2時間、呉羽の「芸術創造センター（通称げいそう）」で行っています。

結団式では、合唱連盟の理事長さんをはじめ、同じ団員の方々から声をかけられて、来てよかったと思いました。それからは手を差し伸べてくださり、楽譜のセットや片付け、雨の中の道中を相合傘してもらっています。練習の合間にいつもおやつをもらっています。

今まではソプラノで歌っていましたが、ここ数年のブランクで高い声が思うように伸ばしにくくなり、アルトに変えました。

日替わりで指導してくださる先生は違うのですが、「楽に歌いましょう」と

いつも言われます。体をほぐす運動から始まり、発声練習・ドイツ語の音読や発声練習や意味を教わっています。

家では YouTube を見ながら練習しています。

昔から混声合唱が好きで、いろんな歌声が混ざり合っていて気持ちがよいです。歌の中に男性だけが歌うパートが数カ所ありまして、合唱団員の平均年齢は高く、男性はお父様方が多いのですが、カッコよくて聴き惚れています。

指導する先生方も面白いことを話して笑わせてくれるので練習はとても楽しいです。今のところ休まず通えています。もしこのまま休まずに通えることができれば、ワインがもらえるらしいです。団員の方々からも「頑張ろう！」と励ましてもらっています。

12月に入ると、一度だけプロのソリストの方からの直接指導が予定されていて、楽しみでなりません。本番まで体調を整えて楽しみたいと思っています。

余談ですが、木曜日は事務所を出た後、すぐ近くの「8番らーめん」で腹ごしらえをしています。そこのお店はソフトクリームの種類が豊富で毎週違うのを食べています。黒ごま・チョコレート・抹茶・バニラが2種類・キャラメルなどがあります。あと塩ラーメンをよく食べています。野菜がたくさん入っているので、栄養はとれているかな。17時前後に行くのですが、あまり混んでなくてゆっくり食べることができています。そのあとは夜道の中意気揚々！？と練習会場に向かっていきます。

2024年は60回目になりますが、また参加したいです。

2023年11月29日記



2024年



ありがとうコーナー

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

今後もよろしくお願いします。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

新年あけましておめでとうございます。

今年もよろしくお願いします。

2024年は、世界で起きている戦争が一日も早く終わることを願って、新しい年を迎えました。

そして、みんなが健康で過ごせたらと思っています。
(アパッチ)

2023 年度新規会員・継続会員

鶴野 祐子さま 富山 正史さま 遠藤 厚子さま 村山 順子さま
内山 すえのさま

カンパ

匿名希望さま

発行人：北陸障害者定期刊行物協会 富山市今泉312

編集人：特定非営利活動法人 ^{ぶんぶく} 文福

〒930-0138 富山市呉羽町7276番地3

e-mail: bunpuku@ab.auone-net.jp

HP: <https://bunpuku.org/>

TEL/FAX (076) 460-0390

定価 50円

※文福の会員の方は、会費に購読料を含んでいます。